

- 今号の目次
1. 第24回研究大会のお知らせ
  2. 学会賞の公募

## 1. 第24回研究大会のお知らせ

次回大会の開催が決まりました。なお新しい情報は、ホームページに随時掲載していきますので、ご覧ください。

- ① 日程：2009年12月5日(土)～6日(日)
- ② 会場：東洋大学白山校舎(東京都文京区白山)
- ③ 実行委員会：実行委員長 今村 肇(東洋大学)  
実行委員 塩見英治(中央大学)、松原 聡(東洋大学)、穴山梯三(東京電力)、瀧澤健太郎(東洋大学) 他
- ④ 大会テーマ：分権・道州制(仮)
- ⑤ メインシンポジウム：5日(土)午後

竹中平蔵氏(慶應義塾大学)、松沢成文氏(神奈川県知事)の参加内定

## 2. 学会賞の公募

学会理事会において、本学会に若手の顕彰制度の導入し、現行の学会賞、尾上賞とあわせて、4つの学会賞が設置されることになりました。それぞれについて、公募を開始いたしますので、ふるってご応募ください(各賞の詳細については、それぞれの規定をご参考ください)。

今年から4つの学会賞の締め切りは、すべて7月15日消印有効です(学会賞、尾上賞は締め切りが早くなりましたので、ご注意ください)。

### (1) 国際公共経済学会奨励賞(新設)

- ① 応募資格：大学院修士課程・博士課程およびそれに準ずる者
  - ・ 12月の学会報告を希望する大学院生は、必ずこの賞に応募してください。院生セッション報告者については、「学会員」であることが必要です。
  - ・ 12,000字のフルペーパーを下記の投稿規定に沿って提出してください。
- ② 締め切り：2009年7月15日(消印有効)
- ③ 提出先：学会事務局
- ④ 審査発表：2009年10月15日 事前論文審査による学会報告の可否は、本人に通知します。

1 (目的) 国際公共経済に関する、大学院修士課程・博士課程在籍者およびそれに準ずる者の学術的研究の奨励に資するため、国際公共経済学会奨励賞を設け、該当会員による優秀なる論文、学会報告を審査選定してこれに賞を授与する。

2 (表彰) 受賞は、毎年数点以内として、賞状と記念品を授与する。

3 (論文の応募資格) 学会員であり、且つ、大学院修士課程・博士課程在籍者およびそれに準ずる者。但し、教員との共同発表は、認めない。また、「準ずる者」の詳細については、理事会に於いて定める。なお、大学院生等の学会報告には、この賞への応募を必要とする。

4 (応募論文) 応募論文は、12,000字以内のフルペーパーとする。

5 (公募) 本賞は、毎年4月に公募を開始し、7月15日に締め切る。公募の詳細については、審査委員会において決定する。

6 (審査) 審査委員会は、応募論文を事前審査するとともに、学会報告の可否を決定する。また、学会報告のプレゼンテーションを審査し、論文審査と総合して受賞作を決定する。

7 (報告) 会員総会において審査委員長は、審査の経過を報告し、会長は対象者に賞を授与する。また、学会機関誌等でこれを公表する。

### (2) 国際公共経済学会修士論文賞(新設)

- ① 応募資格：修士論文提出者(詳しくは下記を参照)
  - ・ 2009年度修士論文提出予定者、2007年度・2008年度修士論文提出者
  - ・ 「学会員」であることは必要ありませんが、学会員である指導教官の推薦書が必要です(推薦書はホームページにあります)。
  - ・ 事前審査で、上位3、4名に12月の研究大会発表を認めます(学会誌掲載も同様)。
  - ・ その3、4名について、事前論文審査と研究大会当日のプレゼンテーションの総合評価で、優秀者を顕彰します。
  - ・ 12,000字のフルペーパーを下記の投稿規定に沿って提出してください。
- ② 締め切り：2009年7月15日(消印有効)
- ③ 提出先：学会事務局
- ④ 審査発表：2009年10月15日 事前論文審査の結果は、本人と指導教官に通知します。

1 (目的) 国際公共経済に関する大学院修士課程修士論文等を顕彰し、修士課程在籍者およびそれに準ずる者の学術的研究の奨励に資するため、国際公共経済学会修士論文賞を設け、優秀なる修士論文等を審査選定してこれに賞を授与し、その業績を顕彰する。なお、「修士論文等」および「修士課程在籍者に準ずる者」の詳細については、理事会で決定する。

2 (表彰) 受賞は毎年4点以内とする。受賞者には、学会での報告と、論文の学会誌掲載が認められ、優秀賞の賞状を授与する。さらにそのうち1点を、最優秀賞とし、賞状と記念品を授与する。

3 (論文の応募資格) ①当該年度修士論文等の提出予定者

②当該年度の前前年度～前年度に提出した修士論文等の執筆者

なお、修士論文賞応募者については、学会員であることは不要とするが、「学会員である指導教官の推薦書」を必要とする。

4 (応募論文) 応募論文は、修士論文等、修士論文予定論文等を12,000字以内にまとめたフルペーパーとする。

5 (公募) 本賞は、毎年4月に公募を開始し、7月15日に締め切る。公募の詳細については、審査委員会において決定する。

6 (審査) 審査委員会は、応募論文を審査し、4点の受賞作を決定する。また、4点の学会報告のプレゼンテーションを審査し、論文審査と総合して最優秀賞を決定する。

7 (報告) 会員総会において審査委員長は、審査の経過を報告して、会長は対象者に賞を授与する。また、学会機関誌等でこれを公表する。

### (3) 国際公共経済学会賞

- ① 対象期間：2007年7月1日～2009年6月30日までに公開された会員による著書等
- ② 締め切り：2009年7月15日(消印有効)
- ③ 提出先：学会事務局まで紙面にてお願いします。また、著書等を1部お送り下さい。

#### 国際公共経済学会学会賞規定

1 (目的) 国際公共経済に関する若手の研究者の学術的研究の奨励に資するため、国際公共経済学会学会賞を設け、会員による優秀なる著者等を審査選定してこれに賞を授与する。

2 (表彰) 受賞は、毎年数点以内とし、賞状と記念品を授与する。

3 (応募および推薦) 会員は、前前年度の7月1日からその年度の6月30日までに公刊された会員による著書等を、7月15日までに学会賞に応募することができる。また、会員は会員の著書等を、学会賞に推薦することができる。

4 (審査) 審査委員会は、応募・推薦された著書等の審査を行い、該当作を決定する。

5 (報告・授賞) 会員総会において審査委員長は、審査の経過を報告し、会長は対象作に賞を授与する。また、学会機関誌等でこれを公表する。

#### (4) 国際公共経済学会尾上賞

① 対象期間：2007年7月1日～2009年6月30日までに公刊された会員による著書等

② 締め切り：2009年7月15日(消印有効)

③ 提出先：学会事務局まで紙面にてお願いします。また、著書等を1部お送り下さい。

#### 国際公共経済学会尾上賞規定

1 (目的) 国際公共経済に関する、既の実績を有する研究者の学術的研究や本学会活動への貢献を賞するため、国際公共経済学会尾上賞を設け、会員による優秀なる業績等を審査選定して、これに賞を授与する。

2 (表彰) 受賞は、毎年数点以内とし、賞状と記念品を授与する。

3 (応募および推薦) 会員は、前前年度の7月1日からその年度の6月30日までに公刊された会員による著書および業績等を、7月15日までに学会賞に応募することができる。また、会員は会員の著書および業績等を、学会賞に推薦することができる。

4 (審査) 審査委員会は、応募・推薦された著書および業績等の審査を行い、該当作を決定する。

5 (報告・授賞) 会員総会において審査委員長は、審査の経過を報告し、会長は対象作に賞を授与する。また、学会機関誌等でこれを公表する。

#### 投稿規定

(1) 論文は、日本語または英文で書かれたものとして、図表を含め、12,000字以内とする。英語の場合は、日本語の枚数に換算する。表題・執筆者名・所属機関名・キーワード(5語程度)を日・英文で明記する。また、英文要旨(5行程度)を必ずつける。

(2) 論文は、原則として横書きとし、ワープロ原稿とする。

(3) 表記は、現代仮名遣い、常用漢字とする。

(4) 本文に挿入する表・グラフ・地図等、文字以外の資料については、必ずそのまま原紙として使用できる状態で送付すること。挿入箇所を本文中に明示する。

(5) 注は文中の肩に(注1)のように記し、論文末尾にまとめる。

(6) 章・節は、1、2、1)、2)、(1)、(2)の記号による。

(7) 引用文献は注記する。記載は以下の方法による。

著書(単独)の場合 執筆者名、[出版年月]、『書名』、出版社、引用ページ

著書(複数)の場合 執筆者名、[出版年月]、『論文名』、編集者名、『書名』、出版社、引用ページ

論文の場合 執筆者名、[出版年月]、『論文名』、『雑誌名』、巻号、引用ページ

(8) 論文等は、本学会の事務局宛、郵送に限り受け付ける。なお、提出原稿は3部、提出論文が入った電子媒体(フロッピー、CD等)1枚(ソフト名を明記、ワード、一太郎等)。但し、PDFでの提出は、不可。

☆学会情報は、最新のものをホームページ <http://ciriec.com/> に掲載してありますので、適宜ご参照ください。